

## 地域活性化に対する取組み

### 福岡ひびき経営大学

地元中小企業の発展と利益向上、ならびに地元経済の活性化に少しでもお役に立ち、応援したいとの思いで昭和60年10月に発足しました。

当金庫とのお取引の有無にかかわらず、すべての企業経営者、後継者、従業員およびその関係の方々を対象としており、令和1年度は統一テーマを「AI時代の働き方改革と生産性向上」とし、4回の講義を行いました。

第35期第3回まつり起業祭協賛特別講演会の講師は、ソフトバンク株式会社元社長室長 嶋 聡氏をお迎えし、「孫正義の参謀が語るIoT時代の経営戦略」について講演いただきました。



### 福岡ひびき経営大学 第35期講座

開催日時・場所	講座	講師
第1回講義 令和1年6月11日 午後1時30分より 当金庫大ホール	講演テーマ 「安川電機の歴史 と新たな挑戦」	株式会社安川電機 代表取締役会長 津田 純嗣氏
第2回講義 令和1年9月26日 午後1時30分より 当金庫大ホール	講演テーマ 「中小企業の新事業創生 における知的財産及びIT 技術の重要性について」	有限責任監査法人トーマツ アドバイザー 事業部 シニアマネージャー 吾妻 勝浩氏
第3回講義 令和1年11月13日 午後1時30分より 当金庫大ホール	講演テーマ 「孫正義の参謀が語る IoT時代の経営戦略」	多摩大学客員教授 ソフトバンク株式会社元社長室長 株式会社ミクシイ取締役 嶋 聡氏
第4回講義 令和2年2月5日 午後1時30分より 当金庫大ホール	講演テーマ 「私たちは、女性のライフ ステージを応援します」	株式会社テクノホールディングス 代表取締役 池内 比呂子氏

### 福岡ひびき経営者賞

この表彰制度は、金庫創立70周年事業の一環として創設された「はっしん経営者賞」が源流となっており、「福岡ひびき経営者賞」として今回で26回目の開催となりました。

地元中小企業の発展・育成に寄与することを目的とし、「技術革新・商品開発部門」「販売・サービス部門」「人事・労務管理部門」「地域社会貢献部門」「ソーシャルビジネス部門」の5つの部門において優れた成果を上げた中小企業の経営者を顕彰しています。これまでに130名の方々を表彰いたしました。



### 第26回 福岡ひびき経営者賞 受賞者

#### ●技術革新・商品開発部門

●株式会社 鎚絵 代表取締役 藤波 耕司氏  
(小倉支店)

●オーエセンター 株式会社 代表取締役 吉武 太志氏  
(小倉支店)

#### ●販売・サービス部門

該当なし

#### ●人事・労務管理部門

該当なし

#### ●地域社会貢献部門

●株式会社 そめ吉 代表取締役 矢野 忠一氏  
(三ヶ森支店)

●株式会社 もち吉 代表取締役 森田 長吉氏  
(直方支店)

#### ●ソーシャルビジネス部門

該当なし

◀写真は前回の第25回表彰式の様子  
(今年の表彰式は8月を予定しています。)

## ひびしんニューリーダー会

新しい時代の経営環境に適應できる経営者に必要な知識の体得と会員相互の啓発、事業の発展を通じて地域社会に貢献することを目的としています。当金庫とお取引のある若手経営者で満47歳までの方を対象としています。令和2年4月末現在の会員数は80名です。

また、平成2年に発足した本会は、昨年創立30周年を迎えることができました。



※写真は昨年度の総会時のものです。



## ひびしん同友会

本会は昭和48年1月に発足し、現在39支部1,496名（令和2年6月現在）の会員数をほり、北九州地区でも有数の親睦団体となっております。各支部や各エリアにおいて懇親会や各種の講演会など活発な活動が行われています。また、北部九州豪雨などの被災者支援や社会貢献活動として、各支部の会員様からの浄財を集め、令和1年8月佐賀県豪雨災害義援金や子ども食堂ネットワーク北九州などの団体に寄付を行っています。



## ひびしんイングスクラブ

各種セミナー、ボランティア活動等を通じて会員同士の交流を図り、地域の活性化に貢献することを目的としています。満18歳以上35歳以下で当金庫にお取引を有する企業の従業員の方または当金庫にお取引のある方が対象です。写真は一般社団法人北九州青年経営者会議様主催「21thヤングサンタ」に参加したときの様子です。事前に応募があった各家庭及び病院・施設に、サンタクロースに扮したスタッフが、子供たちに笑顔と共にプレゼントを届けました。



## ひびしんすみれ会・寿会

すみれ会は当金庫と取引のある女性の会です。寿会は当金庫で年金を受け取られている方、またはこれからお受け取りを希望されている方の会です。令和1年度は、ひびしんすみれ会・ひびしん寿会合同企画として、11月に「平成芭蕉こと黒田さんによる講座『令和を感じる旅』」を実施いたしました。



## ひびしん俳句大賞

11月26日

平成21年7月に創設された「ひびしん俳句大賞」は、現在12回目を数えます。毎回、地域にお住まいの皆さまからたくさんの投句をいただいております。児童・生徒の皆さまからの応募も年々増加しており、今回は過去最高の5,144句の応募をいただきました。



ひびしん俳句大賞受賞作品 一般の部  
大賞受賞句  
ふるさとの匂いいつでも草いきれ  
中間市 吉廣様



## 地域の行事への参加

北九州を中心とした当金庫の営業エリアには、古くから続く地域行事がたくさんあります。当金庫は地域社会の一員として、地域のお祭りやイベント等の諸行事に積極的に参加しています。

令和1年7月20日に開催された若松みなと祭りでは、ひびしん五平太ばやし部&G-girls (ゴヘイタ・ガールズ) が「五平太ばやし競演会」へ参加し、惜しくも優勝は逃しましたが、G1の部で第3位「雄島雌島賞(おじまめじましよう)」を獲得しました。



■ 門司みなと祭 5月27日  
(令和1年度参加役職員100名)



■ 若松みなと祭り 7月20日  
(令和1年度参加役職員76名)



■ わっしょい百万夏まつり 8月4日  
(令和1年度参加役職員83名)

## 親子で楽しむひびしん野球教室 1月19日

野球を通じて親子のつながりを深めてもらう事を目的とした「親子で楽しむひびしん野球教室」を京都府苅田町の学校法人戸早学園(苅田幼稚園)で行いました。元ソフトバンクホークスの柴原洋氏の指導の下、園児たちは、子供用の道具を使い、打つ・投げる・守るの指導を受けました。スポーツを通じて明日を担う、青少年の育成に貢献しています。



## 北九州ゆめみらいワーク 2019

来場者が仕事や学びを体験する「ゆめみらいワーク」に金融機関としてブースを出展しました。多くの方に金融機関の仕事体験いただき、当金庫は出展134団体において「ベストブース賞」を受賞しました。



# NETWORK

## 店舗のご案内

令和2年7月1日現在

### ■北九州市八幡東区

本店 営業部 093-661-2411  
 荒生田 支店 093-651-5633  
 枝光 支店 093-671-5635  
 中央町 支店 093-671-2231  
 大蔵代理店※ 093-651-7731

### ■北九州市八幡西区

黒崎 支店 093-621-2566  
 折尾 支店 093-691-1831  
 香月 支店 093-617-0631  
 穴生 支店 093-631-4535  
 相生 支店 093-631-1061  
 三ヶ森 支店 093-611-0266  
 町上津役 支店 093-611-4455  
 本城 支店 093-603-3161  
 則松 支店 093-691-1851  
 木屋瀬 支店 093-617-0311

### ■北九州市小倉北区

小倉 支店 093-531-4586  
 到津 支店 093-591-0321  
 三萩野 支店 093-922-1111  
 城野 支店 093-931-7535

### ■北九州市小倉南区

北方 支店 093-921-0581  
 曾根 支店 093-471-7600

### ■北九州市戸畑区

浅生 支店 093-882-5221  
 中原 支店 093-882-5271  
 天籟寺 支店 093-882-5261

### ■北九州市若松区

若松 支店 093-761-2031  
 二島 支店 093-791-0331  
 小石 支店 093-771-3911  
 東二島 支店 093-791-2351  
 高須 支店 093-741-0121

### ■北九州市門司区

門司港 支店 093-321-0881  
 新門司 支店 093-481-1425  
 大里 支店 093-381-0761  
 原町 支店 093-381-2334

### ■中間市

中間 支店 093-244-1311

### ■遠賀郡

おんが 支店 093-293-1313

### ■直方市

直方 支店 0949-22-1650  
 頓野 支店 0949-26-0311

### ■宮若市

若宮 支店 0949-52-0038

### ■鞍手郡

鞍手町 支店 0949-42-0013

### ■行橋市

行橋 支店 0930-23-0870

### ■京都郡

苅田 支店 093-436-0735

### ■豊前市

豊前 支店 0979-82-1188

### ■築上郡

築上町 支店 0930-56-0055

### ■福岡市

福岡 支店 092-283-7016  
 千早 支店 092-674-0310

※信用金庫代理業者  
 ひびしんビジネス・サービス株式会社

## 店舗外ATM・CDのご案内

令和2年7月1日現在

### ■北九州市八幡東区

イオンモール八幡東  
 リバーサイド荒生田  
 前田出張所

### ■北九州市八幡西区

サンリブ黒崎店  
 ゆめマート東折尾店  
 サンリブ折尾店  
 サンリブ三ヶ森店  
 MrMax本城店  
 ゆめマート永犬丸店  
 サンリブ木屋瀬店

### ■北九州市小倉北区

JR小倉駅  
 北九州市役所

### ■北九州市小倉南区

サンリブシティ小倉  
 北九州空港  
 サニーサイドモール小倉

### ■北九州市戸畑区

イオン戸畑店

### ■北九州市若松区

マルシヨク深町店  
 イオン若松店  
 青葉台出張所  
 サンリブ高須店  
 若松区役所  
 ベイサイドプラザ若松

### ■中間市

ショッピングモール中間  
 中間市役所

### ■遠賀郡

ゆめタウン遠賀

### ■直方市

イオンモール直方  
 JR直方駅  
 直方市役所

### ■行橋市

行橋市役所

### ■京都郡

苅田町役場  
 平成筑豊鉄道犀川駅前

### ■豊前市

三毛門出張所  
 フレスポくぼてんタウン  
 豊前市役所

### ■大分県中津市

イオン三光ショッピングセンター

### ■その他

高速道路古賀SA(上り)  
 セブン銀行(セブンイレブン)  
 イオン銀行

## 第77期 事業の概況

### 1. 預金・貸出金の状況

#### 預金

令和元年度は、夏期キャンペーンとして、新元号における第1号店舗開設を記念し「祝 令和第1号新店舗記念定期預金」を、冬期には平成29年度および平成30年度に好評であった、懸賞金付定期預金「マネーヒット」を販売し、夏期は74億円、冬期は83億円を獲得致しました。相続等の影響により個人定期は減少したものの、法人定期が増加し、定期預金残高は前期比14億円の増加となりました。また、要求性預金残高が154億円増加した一方、定期積金残高は13億円減少しました。

この結果、期末の預金残高は、前期比154億円増加し6,948億円となりました。

#### 貸出金

令和元年度は、昨年に引き続き事業性融資と消費者ローンを中心に推進し、手形貸付の残高が19億円、証書貸付の残高が79億円増加致しました。事業性融資は新規の取引先の拡大などにより82億円増加となりました。また、消費者ローンがフリーローンを中心に7億円増加しましたが、住宅ローンの獲得の鈍化等により、消費性融資については6億円の減少となりました。この他に、地方公共団体に対する貸出金が14億円増加しております。

その結果、期末の貸出金残高は、前期比89億円増加し3,527億円となりました。

### 2. 収益の状況

貸出金利息については、貸出金利回が低下したものの貸出金期中平残が増加したことにより、前期と比較して114百万円増加しました。

有価証券利息配当金は前期比1,088百万円の増加となりました。また、買入金銭債権利息が前期と比べ97百万円増加した一方、預け金利息は38百万円減少し、資金運用収益は前期比1,260百万円の増加となりました。役員取引等収益は金融商品の堅調な販売もあり前期比42百万円の増加、その他業務収益は国債等債券売却益の増加等により前期比1,112百万円の増加、その他経常収益は株式等売却益が減少した一方、貸倒引当金戻入益が増加し、前期比995百万円の減少となりました。

以上の結果、経常収益については前期と比べ1,421百万円増加し、15,617百万円となりました。

費用面においては、預金利回の低下に伴い、資金調達費用が前期比41百万円の減少となりました。役員取引等費用はその他の役員取引等費用の増加等により、前期比22百万円増加しました。その他業務費用は国債等債券売却損や償還損の減少により前期比325百万円減少しております。人件費は17百万円の減少、物件費は47百万円減少し、経費については前期と比べ50百万円減少致しました。また、株式等売却損が前期比2,073百万円増加、貸倒引当金繰入額と貸出金償却の合計が前期比123百万円の増加となったことなどから、経常費用は前期比1,849百万円増加の14,633百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前期比428百万円減少の984百万円、当期純利益は前期比175百万円減少の773百万円となりました。

## 最近5年間の主要な経営指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
経常収益(千円)	13,796,323	12,759,575	13,082,972	14,196,339	15,617,409
経常利益(千円)	1,327,275	1,710,470	1,682,601	1,412,812	984,325
業務純益(千円)	2,458,162	1,971,601	1,223,488	2,027,304	4,632,728
コア業務純益(千円)	2,087,721	1,283,822	1,198,051	1,557,415	2,933,208
当期純利益(千円)	881,617	1,753,031	1,604,896	949,814	773,915
出資総額(百万円)	3,486	3,479	3,460	3,446	3,452
普通出資金(百万円)	2,246	2,240	2,221	2,207	2,213
優先出資金(百万円)	—	—	—	—	—
その他の出資金(百万円)	1,239	1,239	1,239	1,239	1,239
出資総口数(千口)	4,493	4,480	4,442	4,414	4,426
純資産額(百万円)	49,970	50,121	51,641	49,773	42,492
総資産額(百万円)	712,286	707,005	726,724	734,594	742,503
預金積金残高(百万円)	654,990	651,139	669,424	679,355	694,838
貸出金残高(百万円)	325,167	332,871	337,940	343,758	352,734
有価証券残高(百万円)	279,033	264,096	275,777	275,226	233,056
単体自己資本比率(%)	13.05	12.83	11.86	11.26	11.30
出資に対する配当金(円)	20	15	15	15	15
(出資1口当たり)					
役員数(人)	15	15	14	14	15
うち常勤役員数(人)	11	11	10	10	11
職員数(人)	600	587	597	595	593
会員数(人)	72,406	72,903	72,955	73,080	72,668

(注)「その他の出資金」1,239百万円は、平成15年10月20日に合併した旧直方信用金庫が発行していた優先出資を、平成18年8月31日協同組織金融機関の優先出資に関する法律第15条第1項1号の規定に基づき消却したことにより、優先出資金及び資本準備金からその他の出資金に振り替えたものです。



## 財務諸表

### 貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	平成31年3月31日	令和2年3月31日
(資産の部)		
現金	6,681	6,809
預 け 金	82,671	116,410
買入金銭債権	13,010	18,775
金銭の信託	2,023	1,730
有価証券	275,226	233,056
貸出金	343,758	352,734
外国為替	143	95
その他資産	4,847	4,781
有形固定資産	8,397	8,591
無形固定資産	141	177
繰延税金資産	224	1,159
債務保証見返	839	1,028
貸倒引当金	△ 3,370	△ 2,848
(うち個別貸倒引当金)	(△ 2,423)	(△ 2,018)
資産の部合計	734,594	742,503

(単位:百万円)

科 目	平成31年3月31日	令和2年3月31日
(負債の部)		
預金積金	679,355	694,838
借入金	—	—
その他負債	2,255	1,826
賞与引当金	313	288
役員賞与引当金	26	31
退職給付引当金	1,242	1,168
役員退職慰労引当金	177	169
睡眠預金払戻損失引当金	73	119
偶発損失引当金	225	229
繰延税金負債	—	—
再評価に係る繰延税金負債	310	310
債務保証	839	1,028
負債の部合計	684,821	700,010
(純資産の部)		
出資金	3,446	3,452
利益剰余金	42,968	43,676
処分未済持分	△ 19	△ 27
会員勘定合計	46,395	47,101
その他有価証券評価差額金	2,564	△ 5,422
土地再評価差額金	813	813
評価・換算差額等合計	3,377	△ 4,609
純資産の部合計	49,773	42,492
負債及び純資産の部合計	734,594	742,503

### 損益計算書

(単位:千円)

科 目	平成30年 4月1日から 平成31年 3月31日まで	平成31年 4月1日から 令和2年 3月31日まで
経常収益	14,196,339	15,617,409
資金運用収益	9,473,222	10,733,931
役務取引等収益	1,149,756	1,192,681
その他業務収益	1,085,775	2,198,729
その他経常収益	2,487,585	1,492,067
経常費用	12,783,526	14,633,084
資金調達費用	185,432	143,681
役務取引等費用	1,069,834	1,091,879
その他業務費用	824,328	498,986
経常費用	7,875,215	7,824,921
その他経常費用	2,828,714	5,073,615
経常利益	1,412,812	984,325
特別利益	19,755	—
特別損失	48,618	65,954
税引前当期純利益	1,383,950	918,371
法人税、住民税及び事業税	29,144	28,754
法人税等調整額	404,991	115,700
法人税等合計	434,136	144,455
当期純利益	949,814	773,915
繰越金(当期首残高)	4,764,315	4,662,148
土地再評価差額金取崩額	—	—
当期末処分剰余金	5,714,129	5,436,064

### 剰余金処分計算書

(単位:千円)

科 目	平成30年 4月1日から 平成31年 3月31日まで	平成31年 4月1日から 令和2年 3月31日まで
当期末処分剰余金	5,714,129	5,436,064
積立金取崩額	13,646	—
利益準備金取崩額	13,646	—
剰余金処分額	1,065,627	771,058
利益準備金	—	5,708
普通出資に対する配当金(年3%)	65,627	65,350
特別積立金	1,000,000	700,000
繰越金(当期末残高)	4,662,148	4,665,005

### 単体自己資本比率

(単位:百万円)

項 目	平成30年度	令和1年度
普通出資又は非累積永久優先出資に係る会員勘定の額	46,329	47,036
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,172	1,058
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	252	202
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	47,755	48,297
無形固定資産	141	177
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	141	177
自己資本の額((イ)-(ロ))/(ハ)	47,614	48,119
信用リスク・アセットの合計額	405,122	407,244
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	17,462	18,476
リスク・アセット等の合計額(ニ)	422,585	425,721
単体自己資本比率((ハ)/(ニ))	11.26%	11.30%

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。



あなたと共に、ハーモニー・バンク  
**福岡ひびき信用金庫**

〒805-8520 北九州市八幡東区尾倉2-8-1  
TEL 093-661-2311 (代表)

■ ホームページアドレス  
<http://www.fukuokahibiki.co.jp/>

■ テレホンバンキングサービス  
フリーダイヤル 0120-842-506